

茨城大学工学部附属都市・地域デザイン教育研究センター・シンポジウムのご案内

題目 茨城県の森林資源を活かした持続可能な地域づくり

趣旨 茨城大学工学部附属都市・地域デザイン教育研究センターでは、茨城県内の地域資源を活用した都市・地域デザインの研究を通じて、良好な公共空間や景観の創造を目指しています。本シンポジウムでは、茨城県県北エリアの森林資源に焦点を当て、これまでの研究成果や外部専門家の知見を共有します。森林資源の保全や管理、木材利用、地域資源としての風景の再評価を通じて、地域経済、環境、コミュニティ形成の観点から持続可能な活用の可能性を探ります。

開催概要

- **日時**：令和7年1月17日（金）15:30～17:30
- **場所**：水戸市民会館 ユードムホール（中ホール 482席）
- **対象**：市民、学生、自治体職員、林業・建設業関係者など
- **事前申込**：不要
- **参加費**：無料

プログラム

1. 開会挨拶

小林芳男（茨城大学副工学部長（研究担当））

2. 講演（各15分発表）

(1) 細田浩司（茨城県農林水産部林業課長）

「茨城県内における森林資源の現状と施策」

(2) 遠藤克彦（茨城大学教授、遠藤克彦建築研究所代表取締役）

「木造による大規模公共建築への活用」

(3) 菊池均（(株)樹輪 大子の大工）

「大子町における森林資源の現状と木造技術者」

(4) 沼田淳紀（ソイルウッド代表、高知大学客員教授）

「丸太打設液状化対策による炭素回収と地中貯蔵」

(5) 熊澤貴之（茨城大学工学部附属都市・地域デザイン教育研究副センター長、茨城大学教授）

「歴史的資源としての大子町の板倉と文化的景観」

3. 休憩（5分）

4. パネルディスカッション（30分）

テーマ：「地域経済・環境・コミュニティの視点で森林資源活用を考える」

「産学官連携で木造による土木建築技術の教育・研究推進や地方創生を考える」

司会：小林薫（茨城大学工学部附属都市・地域デザイン教育研究センター長、茨城大学教授）

パネリスト：上記講演者

5. 閉会挨拶

主催 茨城大学工学部附属都市・地域デザイン教育研究センター

後援 茨城県、大子町、茨城大学工学部都市システム工学科、(公社)茨城県森林・林業協会、茨城県木材協同組合連合会、(一社)茨城県建築士会、(一社)茨城県建築士事務所協会、(公社)JIA 関東甲信越支部茨城地域会、日本建築学会関東支部茨城支所